

## 平成27年国勢調査の報告書等一覧

- ・国勢調査の結果は、公表後、全てインターネットによって利用できます。
- ・国勢調査の主な結果を収録した報告書は、全国結果の公表から約3～5か月後に刊行します。

報告書の名称(予定)	刊行(予定)時期
<b>平成27年国勢調査報告</b>	
第1巻 人口・世帯総数	平成29年 3月
第2巻 人口等基本集計結果	平成29年 3月
その1 全国編	
その2 都道府県・市区町村編 (12分冊)	
第3巻 就業状態等基本集計結果	平成29年 9月
その1 全国編	
その2 都道府県・市区町村編 (12分冊)	
第4巻 世帯構造等基本集計結果	平成30年 1月
その1 全国編	
その2 都道府県・市区町村編 (12分冊)	
第5巻 抽出詳細集計結果	平成30年 7月
その1 全国編	
その2 都道府県・市区町村編 (12分冊)	
第6巻 I 従業地・通学地による 人口・就業状態等集計結果	平成29年10月
その1 全国編	
その2 都道府県・市区町村編 (6分冊)	
第6巻 II 従業地・通学地による 抽出詳細集計結果 全国・都道府県編	平成30年 7月
第7巻 人口移動集計結果	平成29年 11月
その1 全国編	
その2 都道府県・市区町村編 (6分冊)	
最終報告書 日本の人口・世帯 上巻 解説・資料編 下巻 統計表編	平成31年 3月

報告書の名称(予定)	刊行(予定)時期
<b>抽出速報集計結果</b>	平成28年 9月
<p>約100分の1の世帯の調査票を抽出して、全国、都道府県及び人口50万以上の市等の地域別に、人口の男女・年齢・配偶関係、住居の状況、労働力状態、就業者の産業・職業別構成、世帯の構成などを速報値として集計したもの</p>	
<b>解説シリーズ</b>	
ライフステージでみる日本の人口・世帯 我が国人口・世帯の概観 <b>(本書)</b> POPULATION AND HOUSEHOLDS OF JAPAN	平成29年 3月 平成30年 3月 平成30年 7月
<b>地図シリーズ</b>	
我が国の人口集中地区 日本人口地図帳	平成29年 3月 平成30年 3月
<b>調査結果の利用案内(ユーザーズガイド)</b>	平成28年 3月
<p>国勢調査の調査結果の利用方法などについてまとめたもの</p>	

<b>小地域集計</b>
<p>主な結果について、町丁・字等別の地域ごとに集計したもので、集計結果はインターネットによって利用できます。</p>
<p>(主な集計の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人口の男女・年齢構成、産業・職業構成等</li> <li>○ 世帯の構成、住居の状態、高齢世帯等</li> </ul>

注) 12分冊は、①北海道・東北Ⅰ(北海道、青森県、岩手県)、  
②東北Ⅱ(宮城県、秋田県、山形県、福島県)、  
③関東Ⅰ(茨城県、栃木県、群馬県)、  
④関東Ⅱ(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)、  
⑤中部Ⅰ(新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県)、  
⑥中部Ⅱ(長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)、  
⑦近畿Ⅰ(滋賀県、京都府、大阪府)、  
⑧近畿Ⅱ(兵庫県、奈良県、和歌山県)、  
⑨中国(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)、  
⑩四国(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)、  
⑪九州Ⅰ(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県)、  
⑫九州Ⅱ・沖縄(大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)を予定

6分冊は、①北海道・東北(北海道～福島県)、  
②関東(茨城県～神奈川県)、③中部(新潟県～三重県)、  
④近畿(滋賀県～和歌山県)、⑤中国・四国(鳥取県～高知県)、  
⑥九州・沖縄(福岡県～沖縄県)を予定